



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 サンセイ株式会社
 コード番号 6307 URL <https://sansei-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 小嶋 敦
 (氏名) 西村 直樹 TEL 06-6395-2231
 配当支払開始予定日 2023年6月30日

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	5,350	19.0	452	49.9	465	31.5	350	62.8
2022年3月期	4,494	△15.8	301	△50.0	354	△43.8	215	△38.3

(注) 包括利益 2023年3月期 353百万円 (63.4%) 2022年3月期 216百万円 (△39.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	45.10	—	8.5	7.5	8.5
2022年3月期	27.71	—	5.5	5.8	6.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	6,503	4,237	65.2	545.27
2022年3月期	5,940	3,992	67.2	513.78

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,237百万円 2022年3月期 3,992百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	771	52	△187	1,763
2022年3月期	△177	△27	△55	1,125

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	108	50.5	2.8
2023年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	108	31.0	2.6
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00		36.3	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	0.2	10	—	10	—	5	—	0.64
通期	5,000	△6.5	400	△11.5	400	△14.0	300	△14.3	38.60

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	8,987,700 株	2022年3月期	8,987,700 株
2023年3月期	1,215,874 株	2022年3月期	1,215,874 株
2023年3月期	7,771,826 株	2022年3月期	7,771,826 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	4,961	19.6	439	52.6	430	29.7	323	63.1
2022年3月期	4,146	△16.8	287	△53.5	331	△43.8	198	△41.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	41.64	—
2022年3月期	25.53	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	6,319	4,093	64.8	526.67
2022年3月期	5,776	3,875	67.1	498.63

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,093百万円 2022年3月期 3,875百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内における新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和等、社会経済活動の正常化へ向けた動きが本格化し、緩やかに持ち直してきているものの、エネルギー・原材料価格高騰による世界的な物価上昇と米国の始めとする各国の金融引き締めによる景気の下押し圧力等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの係わる建設業界におきましては、原材料の品薄感や価格高騰並びに人材確保の競争激化等が続いており、厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、受注高5,350百万円（前年同期比12.1%増）、売上高5,350百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

利益面につきましては、受注及び売上の増加に伴い、営業利益452百万円（前年同期比49.9%増）、経常利益465百万円（前年同期比31.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益350百万円（前年同期比62.8%増）となり、増収増益の結果となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ゴンドラ・舞台

当セグメントにおきましては、受注高3,573百万円（前年同期比3.4%増）、売上高3,587百万円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益327百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

②海洋関連

当セグメントにおきましては、受注高1,775百万円（前年同期比35.2%増）、売上高1,759百万円（前年同期比27.9%増）、セグメント利益437百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

③その他

その他におきましては、受注高1百万円（前年同期比55.8%減）、売上高3百万円（前年同期比82.6%減）、セグメント損失0百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は6,503百万円となり、前連結会計年度末の5,940百万円から562百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上があったことにより現金及び預金が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は2,266百万円となり、前連結会計年度末の1,947百万円から318百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金並びに未払法人税等が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は4,237百万円となり、前連結会計年度末の3,992百万円から244百万円の増加となりました。これは主に剰余金の配当があったものの親会社株主に帰属する当期純利益の計上があったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.2%となり、前連結会計年度末の67.2%から2.0ポイント低下しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて637百万円増加し、当連結会計年度末は1,763百万円になりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、771百万円（前年同期は177百万円の使用）となりました。

これは主に、法人税等の支払額が77百万円となりましたが、税金等調整前当期純利益が465百万円並びに減価償却費が75百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、52百万円(前年同期比は27百万円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が46百万円となりましたが、投資有価証券の償還による収入が100百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、187百万円(前年同期比238.3%増)となりました。

これは主に、短期借入金の純減額が100百万円並びに配当金の支払額が108百万円となったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束等、社会経済活動は回復に向かっていますが、エネルギー・原材料価格の高騰や地政学的緊張は依然として継続しており、不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のなか当社グループは、グループ間の情報共有や連携をより一層強化し、優秀な人材の獲得や技術力の継承、また、各種設備の更新に努め、引き続き経営基盤の強化を図る所存であります。

ゴンドラ・舞台では、グループ間における人材の交流等を積極的に行うと同時に、人材の育成に注力し、顧客ニーズに対応できる技術力の向上に努めてまいります。

海洋関連では、顧客満足度の向上と新規顧客の開拓を強化するとともに、継続的に受注及び売上増加に注力いたします。

その他では、物価高騰による設備投資意欲の減退等を見据え、多様化する顧客ニーズに迅速に対応するなど、技術力の向上及び販売促進を強化いたします。

次期(通期)の連結業績予想につきましては、売上高5,000百万円、営業利益400百万円、経常利益400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則(第7章及び第8章を除く)」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,127,164	1,764,855
受取手形、売掛金及び契約資産	1,484,037	1,527,811
仕掛品	38,971	52,719
原材料及び貯蔵品	23,015	28,887
その他	74,296	32,865
貸倒引当金	△2,078	△2,074
流動資産合計	2,745,406	3,405,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	325,575	321,241
機械装置及び運搬具(純額)	146,133	146,449
工具、器具及び備品(純額)	41,977	41,924
土地	1,837,872	1,837,872
建設仮勘定	5,004	5,004
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	2,356,563	2,352,492
無形固定資産	30,877	30,533
投資その他の資産		
投資有価証券	227,751	130,722
繰延税金資産	63,554	104,918
保険積立金	419,749	377,886
その他	97,043	102,163
投資その他の資産合計	808,100	715,690
固定資産合計	3,195,541	3,098,716
資産合計	5,940,947	6,503,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	555,688	642,433
短期借入金	130,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	218,504	35,170
未払法人税等	10,683	113,588
賞与引当金	118,089	129,573
役員賞与引当金	7,200	11,850
工事損失引当金	220,873	265,494
その他	197,681	343,345
流動負債合計	1,458,720	1,571,455
固定負債		
長期借入金	126,640	333,137
退職給付に係る負債	299,070	287,043
その他	63,535	74,402
固定負債合計	489,246	694,582
負債合計	1,947,966	2,266,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	890,437	890,437
資本剰余金	104,015	104,015
利益剰余金	3,412,767	3,654,453
自己株式	△418,589	△418,589
株主資本合計	3,988,631	4,230,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,349	7,426
その他の包括利益累計額合計	4,349	7,426
純資産合計	3,992,980	4,237,744
負債純資産合計	5,940,947	6,503,782

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,494,579	5,350,025
売上原価	3,342,119	4,034,943
売上総利益	1,152,460	1,315,082
販売費及び一般管理費	850,523	862,391
営業利益	301,936	452,690
営業外収益		
受取利息	464	366
受取配当金	1,022	1,115
受取保険金	44,906	15,737
保険解約返戻金	10	6,008
その他	12,082	7,066
営業外収益合計	58,486	30,295
営業外費用		
支払利息	4,616	4,310
保険解約損	—	3,784
災害損失	—	2,553
固定資産圧縮損	—	3,533
その他	1,734	3,266
営業外費用合計	6,351	17,447
経常利益	354,071	465,538
税金等調整前当期純利益	354,071	465,538
法人税、住民税及び事業税	114,837	157,766
法人税等調整額	23,889	△42,719
法人税等合計	138,726	115,046
当期純利益	215,344	350,491
親会社株主に帰属する当期純利益	215,344	350,491

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	215,344	350,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,032	3,076
その他の包括利益合計	1,032	3,076
包括利益	216,377	353,568
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	216,377	353,568
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	890,437	104,015	3,305,052	△418,589	3,880,916
会計方針の変更による累積的影響額			1,175		1,175
会計方針の変更を反映した当期首残高	890,437	104,015	3,306,227	△418,589	3,882,091
当期変動額					
剰余金の配当			△108,805		△108,805
親会社株主に帰属する当期純利益			215,344		215,344
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	106,539	—	106,539
当期末残高	890,437	104,015	3,412,767	△418,589	3,988,631

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,317	3,317	3,884,233
会計方針の変更による累積的影響額			1,175
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,317	3,317	3,885,408
当期変動額			
剰余金の配当			△108,805
親会社株主に帰属する当期純利益			215,344
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,032	1,032	1,032
当期変動額合計	1,032	1,032	107,572
当期末残高	4,349	4,349	3,992,980

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	890,437	104,015	3,412,767	△418,589	3,988,631
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	890,437	104,015	3,412,767	△418,589	3,988,631
当期変動額					
剰余金の配当			△108,805		△108,805
親会社株主に帰属する当期純利益			350,491		350,491
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	241,686	—	241,686
当期末残高	890,437	104,015	3,654,453	△418,589	4,230,317

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,349	4,349	3,992,980
会計方針の変更による累積的影響額			—
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,349	4,349	3,992,980
当期変動額			
剰余金の配当			△108,805
親会社株主に帰属する当期純利益			350,491
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,076	3,076	3,076
当期変動額合計	3,076	3,076	244,763
当期末残高	7,426	7,426	4,237,744

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	354,071	465,538
減価償却費	72,333	75,240
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	3,990	44,621
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,755	△12,027
受取利息及び受取配当金	△1,487	△1,482
支払利息	4,616	4,310
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△101	1,395
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,045	△14,165
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,155	△19,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	△135,528	69,111
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	16,638	11,542
その他	△173,367	208,441
小計	114,719	832,905
利息及び配当金の受取額	3,090	3,178
利息の支払額	△4,535	△4,406
法人税等の支払額	△290,427	△77,337
法人税等の還付額	—	17,448
営業活動によるキャッシュ・フロー	△177,153	771,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	3,500	—
有形固定資産の取得による支出	△34,894	△46,386
有形固定資産の売却による収入	106	272
有形固定資産の除却による支出	△5	△1,014
投資有価証券の売却による収入	2,845	—
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
その他	751	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,696	52,872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△143,504	△226,837
配当金の支払額	△108,637	△108,745
その他	△3,138	△1,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,280	△187,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△260,071	637,691
現金及び現金同等物の期首残高	1,385,835	1,125,764
現金及び現金同等物の期末残高	1,125,764	1,763,455

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社及び下関工場に生産・販売体制を基礎とした製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ゴンドラ・舞台」及び「海洋関連」の2つを報告セグメントとしております。

「ゴンドラ・舞台」は、窓拭き用ゴンドラ他類似製品、舞台装置の設計・製造販売・据付及び納入製品の保守修理事業並びに仮設ゴンドラレンタル事業、これらの付帯事業を展開しております。「海洋関連」は、船舶修理、魚礁・浮体式灯標の製作及び船員宿泊事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゴンドラ・ 舞台	海洋関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,098,607	1,374,852	4,473,460	21,119	4,494,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	12,726	12,726
計	3,098,607	1,374,852	4,473,460	33,846	4,507,306
セグメント利益又は損失(△)	250,563	301,358	551,921	△1,269	550,651
セグメント資産	2,562,863	1,358,284	3,921,147	18,739	3,939,886
その他の項目					
減価償却費	17,663	53,335	70,998	14	71,012
有形固定資産の増加額	22,091	5,992	28,084	4	28,088

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械の製造販売及びビル管理事業等を含んでおります。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゴンドラ・ 舞台	海洋関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,587,265	1,759,081	5,346,347	3,677	5,350,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	10,580	10,580
計	3,587,265	1,759,081	5,346,347	14,257	5,360,605
セグメント利益又は損失(△)	327,515	437,601	765,116	△801	764,315
セグメント資産	2,745,614	1,298,582	4,044,197	7,310	4,051,508
その他の項目					
減価償却費	28,913	44,995	73,908	2	73,911
有形固定資産の増加額	46,928	24,493	71,422	4	71,426

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械の製造販売及びビル管理事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,473,460	5,346,347
「その他」の区分の売上高	33,846	14,257
セグメント間取引消去	△12,726	△10,580
連結財務諸表の売上高	4,494,579	5,350,025

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	551,921	765,116
「その他」の区分の損失(△)	△1,269	△801
全社費用(注)	△248,715	△311,624
連結財務諸表の営業利益	301,936	452,690

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位: 千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,921,147	4,044,197
「その他」の区分の資産	18,739	7,310
全社資産(注1)	2,023,230	2,543,290
その他の調整額(注2)	△22,169	△91,015
連結財務諸表の資産合計	5,940,947	6,503,782

(注1) 全社資産は、主に管理部門に係る資産であります。

(注2) その他の調整額は、セグメント間の債権債務の消去額であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	70,998	73,908	14	2	1,320	1,329	72,333	75,240
有形固定資産の増加額	28,084	71,422	4	4	221	52	28,310	71,479

(注) 有形固定資産の増加額の調整額は、本社建物の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	513.78円	1株当たり純資産額	545.27円
1株当たり当期純利益	27.71円	1株当たり当期純利益	45.10円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	215,344	350,491
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	215,344	350,491
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,771,826	7,771,826

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,992,980	4,237,744
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,992,980	4,237,744
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数 (株)	7,771,826	7,771,826

(重要な後発事象)

該当事項はありません。